

漁海況情報第3報 (2026年 7月16日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0139

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。



1. 表面水温分布状況

宮城県沿岸の表面水温（図1）は19～23℃の範囲になっています。平年（過去30年平均）との比較（図2）では、1～4℃高くなっていますが、前年同期との比較では（図3）3～4℃低くなっています。

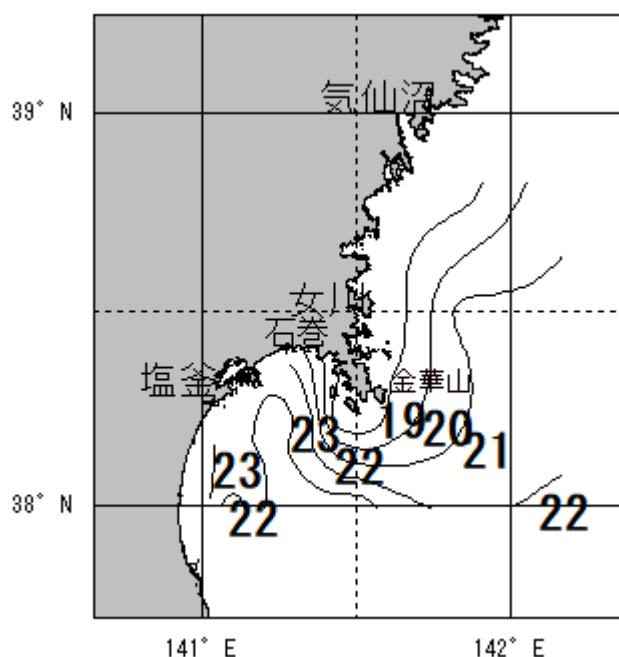


図1 表面水温分布図
(2026年6月24日～7月15日)

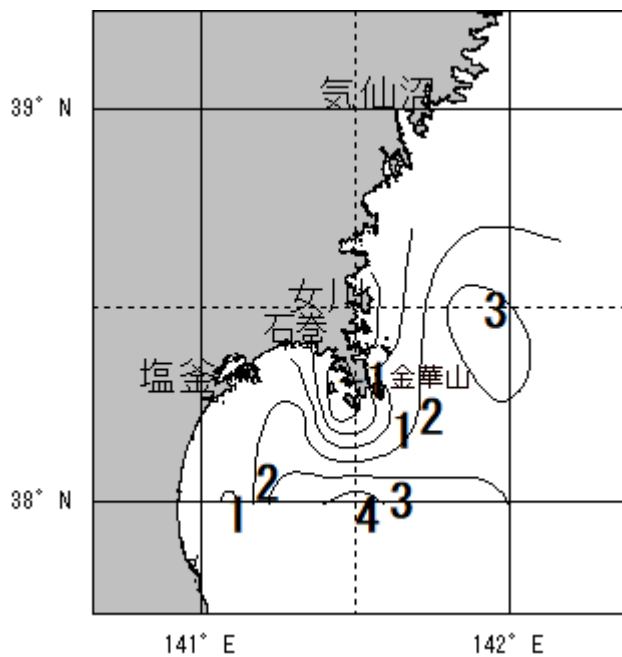


図2 表面水温平年偏差図
(2026年6月24日～7月15日)

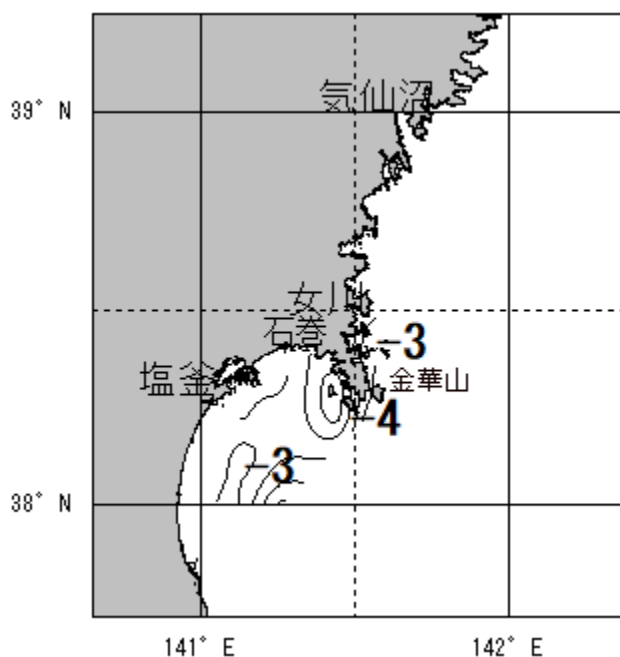


図3 表面水温前年偏差図
(2026年6月24日～7月15日)

今後のポイント

表面水温は、気温の影響を受けやすいため猛暑の影響を受け、平年より高くなっています。

今後も気温が高い状態が続く見込みですので、更なる水温の上昇が見込まれます。

2. 10m深水温分布状況

10m深水温は18～20℃で表面水温より1～3℃低くなっています（図4）。平年値との差を見ると沖合いへ向けて1～4℃高くなっています（図5）。前年同期比では（図6）仙台湾で概ね平年並みですが石巻湾では2℃高くなっています。

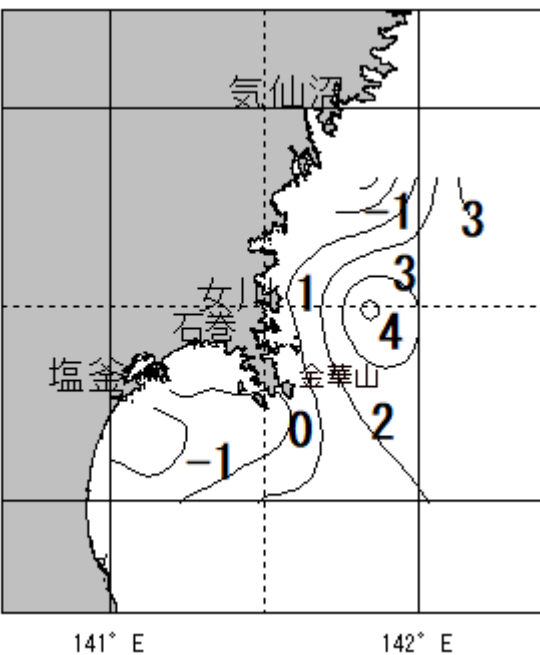
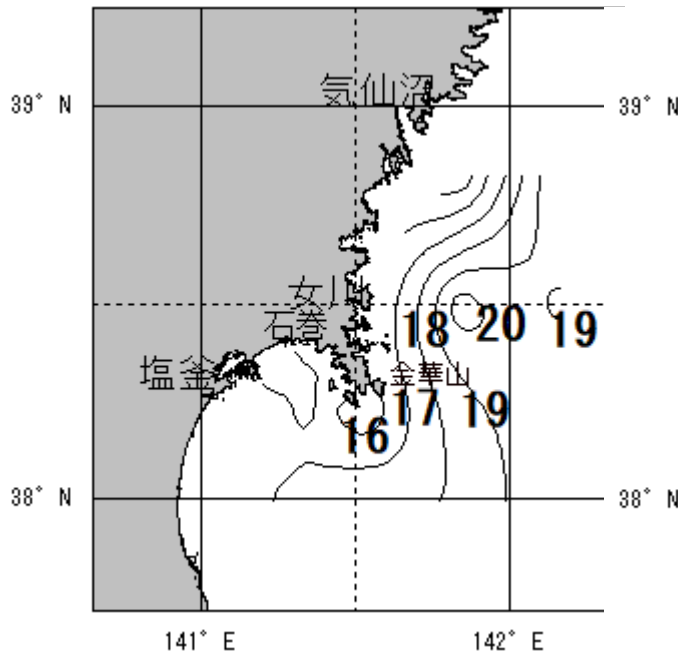


図4 10m水温分布図
(2026年6月24日～7月15日)

図5 10m水温平年偏差図
(2026年6月24日～7月15日)

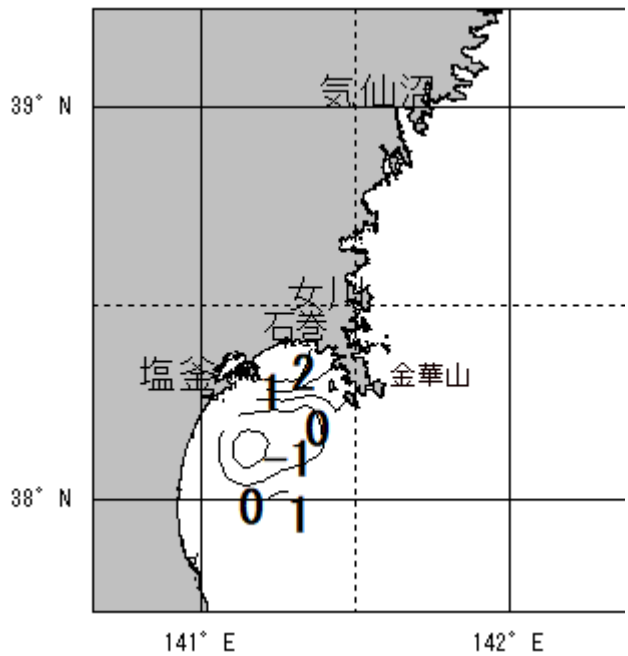


図6 10m水温前年偏差図
(2026年6月24日～7月15日)

今後のポイント

表面水温上昇の影響を受け、
今後は徐々に上昇するでしょう。

とくに仙台湾内は気温の影響を強く受け急上昇することが想定されますので、注意が必要です。

3. 100m深水温分布状況

100m深では7～11℃で（図7）、平年より1～2℃高くなっていますが県北中部沖合では3～4℃高くなっています（図8）。

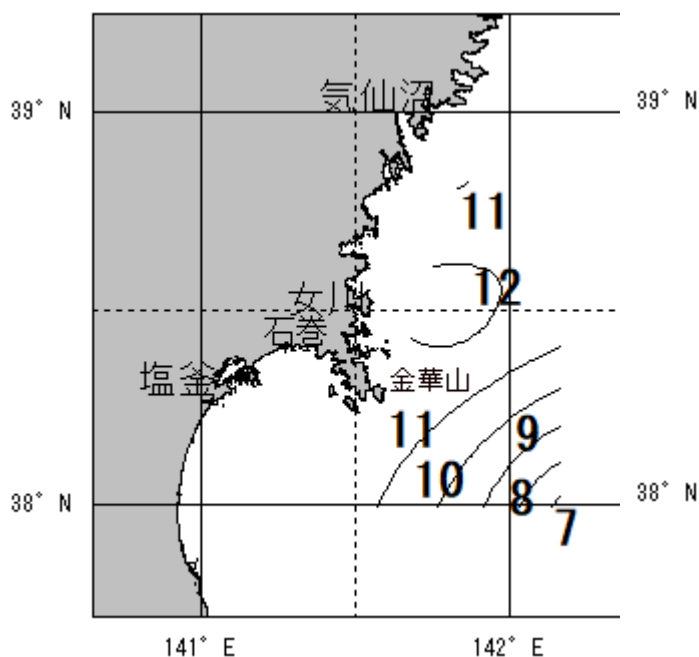


図7 100m水温分布図
（2026年6月24日～7月15日）

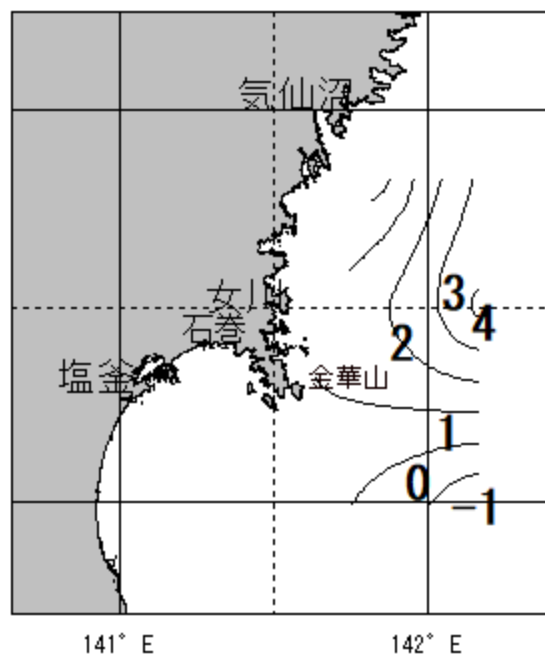


図8 100m水温平年偏差図
（2026年6月24日～7月15日）

4. 海底直上水温分布状況

海底直上水温は4～14℃の範囲で沖合へ向かって水深が深くなるに従い、緩やかに低下しています（図9）。

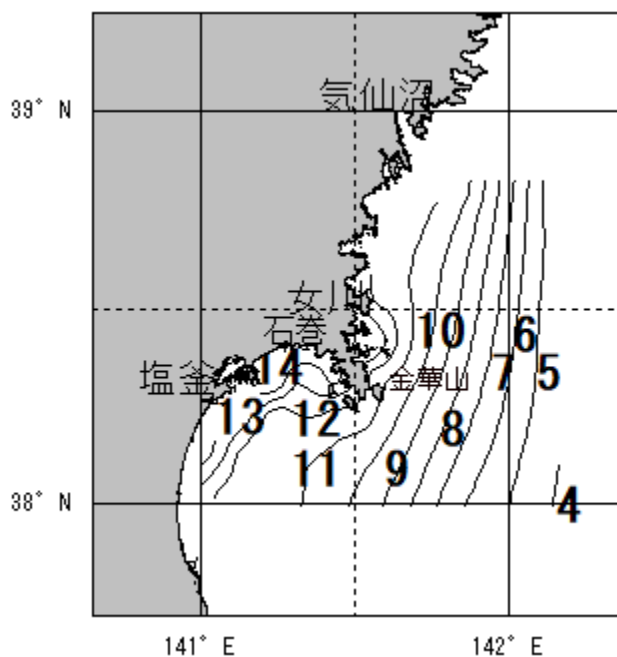


図9 海底直上水温分布図
（2026年6月24日～7月15日）

5. 鉛直水温分布状況

表面水温は20℃以上ありますが、100m深水温は11～12℃と10℃近い差が見られています（図10）。今後も気温の上昇とともに温度差が大きくなると思われます。100m以深では、水温の低下は緩やかになっています。

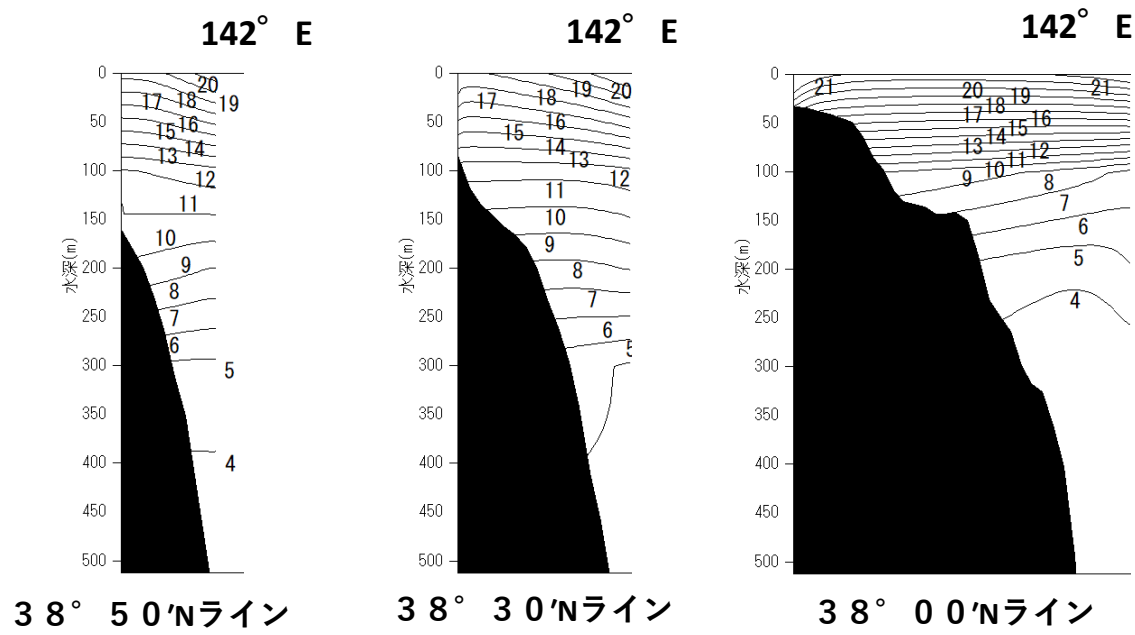


図10 鉛直水温断面図
(2026年6月24日～7月15日)



6. 定置観測水温の状況

平年との比較では平年並～高めとなっていますが、前年差は0から－3.3℃で昨年ほど高くなっていません。しかしながら、今後も猛暑が続くと更なる上昇が見込まれますので、注意が必要です。

みやぎ水産NAVI

下記のグラフや日々の水温
を見ることができます。

観測地点	7月上旬		平年差	前年差
気仙沼（杉ノ下）	20.0	高め	1.8	-1.2
歌津	19.9	高め	2.3	-1.1
江島	18.9	やや高め	1.2	0.0
田代島	21.5	やや高め	0.9	-3.3
佐須浜	22.2	やや高め	1.0	-2.4
桂島	23.5	平年並	-0.1	-2.5
亘理	22.6	平年並	0.2	-2.2